

あかつかやま

2023年10月 No.106



ミニ水族館

CONTENTS

● 特集	飼育員のおすすめの本	杉浦 篤史	2
● 付録	発見!あかつかやま		4
● 報告	職場体験記・ネコギギの繁殖		5
● イベント	秋のぎょ長の水族館・いいとこ撮り写真展作品募集		6

飼育員おすすめの本

はじめに

秋といえば、読書の秋。この特集を執筆している現在（9月）は、まだまだ真夏のように暑い日が続いており、本を開く気も失せますが、今号が発行される頃には涼しくなり、じっくりと腰を据えて読書できる気候になっていることを願います。ということで、今回は我々飼育員が将来を担う若者に是非読んでもらいたい自然や生き物に関する本を紹介したいと思います。

前田民男のおすすめ本

「動物生態図鑑 かつてにシロクマ」



クマの親子の生活をおもしろおかしく描いた動物生態図鑑です。ストーリーに関係のない生き物たちが、たびたび登場します。私が、中学生の時、この本に出逢いましたが、その脇役の生き物に興味を持ち図鑑で調べ、探しに出かけました。小さな生き物たちに関心を持ち始めた記憶があります。私たちの身の回りで、いろいろな生き物たちが生活していることに気付かされるおもしろい本です。

もう1冊

著者 / 相原コージ
出版社 / 株式会社双葉社

鈴の鳴る道〈花の詩画集〉
星野富弘
偕成社



杉浦篤史のおすすめ本

「理系アナ柘太一の 生物部な毎日」



人気フリーアナウンサー柘太一さんの著書。サイエンスコミュニケーターとしても活躍する柘さんの生き物好きの原点はどこからくるのか？青春時代の楽しいエピソードがいっぱいです。私も生物部に入っていれば人生変わったかな～？と思わされます。読了後、思春期真っ盛りの身近な高校生（生物部兼部）に勧めましたが、あっさりと一蹴されましたので、将来に悩む少年少女にオススメします。生物沼にハマること受け合い。

もう1冊 昆虫 新版(学研の図鑑 LIVE(ライブ))

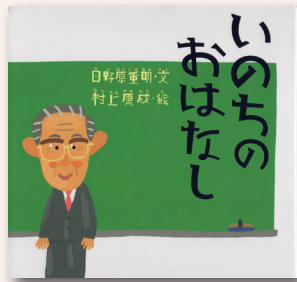
著者 / 柘太一
出版社 / 岩波ジュニア新書

総監修 丸山宗利
学研



杉浦明美のおススメ本

「いのちのおはなし」



著者 / 日野原重明
出版社 / 講談社

「いのちとは?」とふと考えたときにオススメの1冊です。私が小学生のみなさんに「いのちについて」初めてお話をする機会を頂いたとき、この本と出逢いました。「いのち」とはこれから生きていく時間。この言葉は今でも私の中心にあって伝え続けています。自分に与えられた時間を大切に、どう使うか。この時間を自分のためだけでなく、ほかの人のために使えるかを考えるきっかけになると思うので、ぜひ読んでみてください。

もう1冊

センス・オブ・ワンダー
レイチェル・カーソン
新潮社



浅香智也のおススメ本

「ソロモンの指環 動物行動学入門」



著者 / コンラート・ローレンツ
出版社 / 早川書房

ソロモンの指環とは、動物と話ができる魔法の道具です。しかし、博士は、その指環が無くても、動物の行動をよく観察することで話ができるようになるといいます。そのため、動物の真似をしたり、鳥と一緒に生活したり、動物の行動を理解しようと奮闘します。また、動物に攻撃された時に、檻に逃げ込むのは人間です。この本に共感した私に、ただの生き物好きから、生物研究者に変わるきっかけをくれた本です。原本は、1949年と古い本です。

もう1冊

ライギョのきゅうしよく
阿部夏丸
講談社



家原佑実子のおススメ本 「空のふしぎがすべてわかる! すごすぎる天気の本」



著者 / 荒木健太郎
出版社 / 株式会社 KADOKAWA

普段私たちの生活に当たり前に関わる気象や天気。そんな身近な存在を、不思議に迫って紹介している本です。気象現象自体の発生の仕組みは、考えるのが少し難しい内容ですが、キャラクターたちでイメージがしやすくなっています。私は以前から空や雲を見ることが好きですが、空の変化は素敵な風景だけではなく、大きな気象災害を起こすこともあるため、この本を通してより天気を知って、上手に付き合えるようになりたいと思えるオススメの本です。

もう1冊

海のどうぶつが可愛すぎて!
まつおるか
株式会社 KADOKAWA



いかがでしたでしょうか、それぞれの個性溢れる本の紹介となりました。みなさんの本選びの参考になればと思います。今回紹介しきれなかった分はシリーズとして、また次の機会にご紹介しようと思います。お楽しみに!

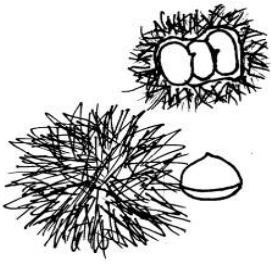
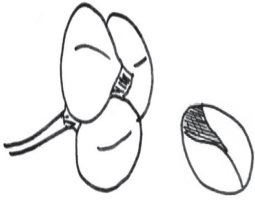
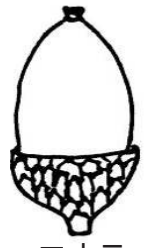



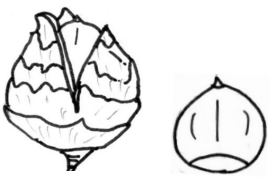
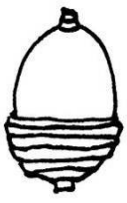
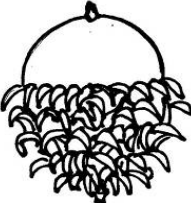
学芸員 杉浦篤史

発見! あかつかやま

しょくぶつ編 ~ あきの きのみ ビンゴ ~

あかつかやまこうえんでみられる あきの きのみを
みつけて ビンゴゲームをしよう!



 <p>クリ</p>	 <p>ナンキンハゼ</p>	 <p>コナラ</p>
 <p>モミジバフウ</p>	 <p>フリー</p>	 <p>スタジイ</p>
 <p>ツブラジイ</p>	 <p>シラカシ</p>	 <p>クヌギ</p>



きのみさがしをするときは すずしいかぜにあたりたり
おちばのにおいをかいたり、ねころんだり、ふんだりと
あきをかんじながら あそんでみるとおもしろいよ。



あかつかやま公園 職場体験記

赤塚山公園では職場体験の受け入れをしています。今回は市内の中学生2名がぎよぎよランドとアニアニまあるの仕事を体験し、感想を残してくれました。

豊川市立音羽中学校2年生 細井 雄太さん

僕は、「アニアニまある」で職業体験をさせていただき、動物の個性を感じました。好きな場所、好きな食べ物、鳴き声、性格など、動物個々に違います。飼育員の方々も動物に対して、さまざまな考えや思いをもって働いていると感じました。今回の体験を忘れずに、将来は飼育員を目指したいです。

(体験日：9/6-9/8)



豊川市立西部中学校2年生 相川 友海さん

僕は動物が好きで、赤塚山公園での体験がうれしかったです。モルモットを抱くと、命の温かさを感じました。働くことの大変さも学びました。ポニー部屋の掃除は糞が多く、力仕事でした。命を育てる喜びと大変さを学べる貴重な体験をありがとうございました。

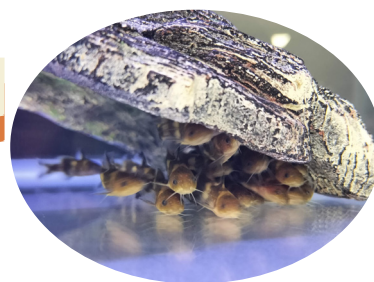
(体験日：9/13・14)

「ネコギギ」の繁殖に成功しました。

ぎよぎよランドでは国の天然記念物で、絶滅危惧種であるネコギギの繁殖に今年も成功しました。

ネコギギは三河湾・伊勢湾にそそぐ河川の上・中流域に生息する魚で、豊川にも生息しています。ぎよぎよランドでは、このネコギギを国土交通省設楽ダム工事事務所が行うネコギギ保全事業の一貫として、2018年から繁殖を開始し、6年連続で繁殖に成功しています。今年は89匹繁殖しました。

このネコギギの幼魚のうち、50匹を10月4日(水)から11月5日(日)までの約1ヶ月間ぎよぎよランド1Fロビーで展示しています。小さなネコギギがたくさん集まって同じ方向を向いて泳いでいる姿がとてもかわいいです。



10/27(金) 28(土) 29(日)

午後5時15分～午後9時



秋のぎよ長の水族館

ぎよぎよランドが午後5時15分から午後9時まで開館します。

夜のぎよぎよランドでハロウィンをたのしもう。

3日間先着400名様に光るリングをプレゼント。

光るライン噴水、ぴよんぴよん噴水もご覧いただけます。

あかつかテラスでは、飲食物販やミニ縁日もあります。

【場所】 「ぎよぎよランド」と「あかつかテラス」

【対象者】 どなたでも

※あかつかテラスの飲食物販、ミニ縁日は有料となります。



秋の「ぎよ長」の水族館

10月 27(金)・28(土)・29(日)
午後5時15分～午後9時
※午後5時に一度閉館し、5時15分から再度開館します。

秋の夜長を楽しんでもらうためぎよぎよランドを夜9時まで開館します。涼しい夜は、いつもと違った景色が見えるかも!!

懐中電灯を持って来てね!

ぎよぎよランドにて開催

- 「光るリングのプレゼント」
各日先着400名様
- 「園内員のスポットガイド」
日によって内容が変わるのでお楽しみに!
- 「アニアニまあるイルミネーション」
夜の水の広場も見逃さない!
- 「夜のあかつかテラス」
あかつかテラスでの飲食物販、ミニ縁日もあるよ。

館内に出発する変装した飼育員に「トリックオアトリート!」って声をかけるとお菓子がもらえるよ(中学生以下)

※観覧料は、各日先着100名。観覧料は別途あり。
豊川市赤塚山公園

「いいところ撮り写真展」

作品募集中

11/30(木)までです。

園内で撮影した赤塚山公園のいいところを専用フォームからご応募ください。

風景や生き物、植物などなんでもOKです。

生き物、植物、風景...園内の「いいところ」を写真に撮ってご応募ください。

応募期間
2023 7/1(SAT) ▶ 11/30(THU)

写真展開催期間
2024 2/7(WED) ▶ 3/11(MON)

応募方法、募集要項、賞品等詳細は赤塚山公園のホームページをごらんください

豊川市赤塚山公園

右のQRコードから応募フォームが開きます (formrun利用) <https://form.run/@itokodori>

赤塚山公園の「いいところ撮り」写真展 作品募集

行事・イベントの報告

令和5(2023)年7月～8月

7/3	豊川調査(海倉橋)	
7/5	豊川市立八南小学校2年生 川の生き物調べ(西古瀬川)	66人
7/9	サンテパルクたはら 「くるくるチューリップ」	
7/21	「ニワトリの遊具に名前を付けよう」 募集開始(～8/6)	
7/28.29	第28・29回赤塚山公園自然観察会 「ナイトツアー」	39人
8/2	子ども環境体験ツアー(環境課主催) 「音羽川水生生物調査団」	15人

8/2	しいくいんのおしごとたいけん隊 「ぎよぎよランド編①」	12人
8/9	しいくいんのおしごとたいけん隊 「アニアニまある編①」	13人
8/16	しいくいんのおしごとたいけん隊 「ぎよぎよランド編②」	10人
8/18	夏季実技研修 豊川市立小学校教員	36人
8/23	しいくいんのおしごとたいけん隊 「アニアニまある編②」	10人



編集・発行

動物取扱業に関する表示

氏名又は名称: 豊川市長 竹本 幸夫 登録番号: 動東第119号
事業所の名称: 豊川市赤塚山公園 登録年月日: 平成18年9月28日
事業所の所在地: 愛知県豊川市市田町東堤上1番地30
有効期間の末日: 令和8年9月27日
動物取扱業の種別: 展示
動物取扱責任者: 前田 民男

あかつかやま No.106 2023/10/15

豊川市赤塚山公園
〒442-0862 豊川市市田町東堤上1番地30
TEL(0533)89-8891 FAX(0533)89-8892

次号は12月15日発行です。